

官廳公示連絡事項

教育における宗教の

取扱について

文初歴第一五二號

昭和二十四年十月二十五日

文部事務次官 伊藤日出登

都道府縣教育委員會

都道府縣知事

附屬小、中等學校を有する直轄學校長 殿

國立各種學校長

國立高等學校長

社會科その他、初等および中等教育における
宗教の取扱について

先に教一〇一號(昭和二十三年七月九日發)によつて、児童・生徒の社會科の學習活動中で、「國家神道、神社神道に對する政府の保證、支援、保全、監督ならびに弘布の廢止に關する昭和二十年十二月十五日附連合國軍最高司令官總司令部指令第四四八號、同日附參謀副官發第三號(民間情報教育部)」の日本政府に對する覺悟の原則にふれることがないよう

に各學校において指導されたいとの注意を促しました。

そのうち、社會科の教育のみならず、ひろく初等および中等教育における宗教に關する事項について研究協議しました結果、次のような結論を得ました。以下各項をよく研究されて、あやまちのないように御配慮を願います。

一、國立または公立の學校が主催して、神社寺院、教會その他の宗教的施設を訪問することについて

學校が主催して、禮拜や宗教的儀式、祭典に参加する目的をもつて、神社、寺院、教會その他の宗教的施設を訪問してはならない。學校で主催するという意味は、學校で計畫して團體で訪問すること、または個々の児童、生徒が學校から課せられて、神社、寺院、教會その他の宗教的施設を訪問することである。

國寶や文化財を研究したり、あるいはその他の文化上の目的をもつて、學校が主催して神社、寺院、教會その他の宗教的施設を訪問することは、次の條件の下では許される。

(イ) 児童、生徒に服要してはならない。

(ロ) 學校が主催する旅行中に、神社、寺院、教會その他の宗教的施設を訪問する児童、生徒の團體は、その宗教的施設の儀式や祭典に参加してはならない。

(ハ) 學校が主催して神社、寺院、教會その他の宗教的施設を訪問したとき、教師や指導者が命令して、敬禮その他の儀式を行わせてはならない。

(ニ) 學校が主催して、靖國神社、護國神社(以前に護國神社あ

るいは招魂社であつたものを含む)、および主として戦没者を祭つた神社を訪問してはならない。

二、國立または公立の學校における宗教に關する教材の選擇および取扱ひについて

(イ) 各教科の教育目標に照らして必要な場合には、各種の宗教の教祖、慣行、制度、宗教團體の物的施設、厚生および教育活動、種々の宗教史上の事件などに關する事實を含んでもよい。

これらの教育資料においては、特定の宗教的教理、慣行、制度經驗などを、價值がないものとして否認したり、あるいは特定のものを特に高く評價したりするような表現を用いてはならない。また科學と宗教とは兩立しないものと假定してはならない。このことは、自然現象を自然的原因に歸することを妨げるものではない。

(ロ) 社會科においては、宗教が社會生活の中で、どんな役割を果たして來たかを明らかにする點に重點がおかれなければならない。また適當な學年において、憲法の内容やその他の法律にもとづいて、信教の自由の意義を教えなければならない。

(ハ) 文學および語學の教科書においては、文學的あるいは語學的價值があると認めて選擇したものである限り、宗教的教材が含まれていてもよい。しかし、その取扱ひに當つては、その教材選擇の主旨に反しないように注意しなければならない。

(ニ) 音楽、美術、建築の指導においては、教材として宗教的感化を受けた作品を利用してもよい、藝術的表現に對する宗教の影響を研究することは、望ましいことである。

(ホ) 學校圖書館には、参考および研究のために、宗教に關する書籍や定期刊行物を備えつけてもよい。

(ヘ) 各種の宗教の教理、歴史、哲學、心理の客觀的研究(比較研究あるいは特殊研究を、新制高等學校における選擇科目として設けてもよい。しかし特定の宗教のための宗教教育にならないように注意することが必要である。

三、國立または公立の學校の兒童、生徒の自發的宗教について

(イ) 兒童、生徒が授業時間以外に、一國民として、宗教的儀式、祭典、その他、宗教團體の行う行事に参加することは自由であるし、教師も同様である。

(ロ) 中等學校生徒は、正規の授業時間以外の活動として、自發的な宗教的團體を組織することができる。

(ハ) 學校はこの種の團體の活動に對しては、校内の他の生徒團體に與えられていと同様に、學校施設利用の便宜を與えなければならない。また學校は、生徒のどの宗教的團體にも、無差別公平にこの種の便宜を與えなければならない。そしてこの旨を、適め周知させておくことが必要である。

各學校當局者は、講堂、教室その他の施設を、授業時間以外に、生徒團體の活動のために使用させるか否かを決定する機能を持つべきである。

(ニ) 生徒の宗教的團體は、教師を個人の資格において、顧問または會員として、その活動に参加することを請うてもよい。

四、宗教家と學校教育との關係について

(イ) 國立または公立の學校では、宗教團體の教職者および信者を招いて、宗教の分野以外の題目について講演をしてもらつてもよい。このようなことを行うに際しては、教理や宗教的儀式的解説、あるいはそれらの宣傳を行つてはならないということを、か

れらに前以てよく了解しておいてもらうことが必要である。

(ロ) 宗教團體の教職者および信者で、國立または公立の學校の教職にあるものは、法衣をまつて教室にあらわれてはならない。また、いうまでもなく、かれらは、教師の行動と職業とを律するすべての規則に従わなければならない。

五、國立または公立の學校では、各學校當局者が各學校の建物を管理する直接の責任を負つてゐる。したがつて授業時間以外において、生徒の團體以外の宗教團體に、學校の建物を使用させることに關しては、學校當局者が學校教育法第八十五條の規定にもとづいて判定すべきものである。

六、以上の諸事項は、私立學校には適用されない。私立學校は軍國主義的、超國家主義的敎説を敎えてはならないということ以外には、すべての宗教敎育および自發的活動に關して、自分の教育方針や實踐を決定する自由を持つてゐる。

愛育

第十五卷 第一號 千共三三圖

卷頭

倉橋惣三

育兒對談

本會總裁三笠宮妃殿下と語る

育兒講座

新生兒の榮養

平井信義

新生兒の發育

細川達

指導記事

新しい早産兒哺育

伊達玄

新しい肺炎の豫防と手當

齋藤文雄

冬のお産と心構へ

鈴木隆子

幼兒教育のコツ

岩崎こと

愛育相談

愛育トビックス

誌上育兒展

家庭重寶集

支部だより(神奈川縣の卷)

電話・そら春が來た。春が!!

マリアン・レイ

東京都麻布局區内盛岡町一ノ五

恩賜財團 母子愛育會

御知らせ

月刊紙 保育の友 發刊について

今回厚生省保育課が幹旋役となり、保育所關係の有志の方々が糾合し、標題の月刊紙を發行することになりました。名前の示すように眞に保育關係者のための「良き友」たらしめたい熱意の下に目下編集中です。尙ほ事務所は暫定的に厚生省保育課内におき、發費はフレイベル館によつてなされます。

子供の日 童謡 募集の計畫

今回フレイベル館が主催となり、朝日新聞社後援、文部省、厚生省、金保連、NHK、日本ビクター等の協賛を以て、五月五日「子供の日」にうたうに相應しい童謡を募集する計畫が樹ちました。詳細は一月號誌上に發表いたしますが、要綱を掲げれば、三節以内、二月末、切選者は倉橋先生、文部省大島課長、厚生省吉見課長他文藝專門家數氏、當選作について作曲は弘田龍太郎氏を煩はす豫定です。